

自己診断ツール 操作手順

XC-STFR3J-MN 専用

Version 1.02 (Web掲載版)

パナソニック コネクト株式会社

現場ソリューションカンパニー

自己診断ツールのご使用の前に

注意事項

自己診断ツールは、顔認証付きカードリーダーが正常に動作しているかを診断するツールとなります。
提供する機能は、機器に搭載されているデバイスのチェックと、一部のソフトウェアドライバ及びWindowsの設定確認となります。

ご注意：

- ・ 自己診断ツールは、パナソニック 顔認証付きカードリーダー XC-STFR3J-MN 専用です。
- ・ 動作には、1920x1080以上（2k）のモニターが必要です。
- ・ 本ツールの使用にあたっては、事前取扱説明書（準備編）に従い機器接続をおこなってください。
- ・ 本ツールを使用前に顔認証付きカードリーダーアプリケーションを必ず終了してください。
なお、顔認証付きカードリーダーアプリケーションの終了には時間が要しますので、少し時間空けて（30秒程度）起動ください。
- ・ 次ページの自己診断ツールに関する使用条件を確認の上、ご使用してください。
- ・ 本プログラムは管理者権限で実行する必要があります。（[こちらを参照ください](#)）

自己診断ツールに関する使用条件

お客様は、パナソニック コネクト株式会社（以下「パナソニック」という。）より提供される、パナソニック製顔認証付きカードリーダー機（型番：XC-STFR3J-MN。以下「本カードリーダー機」という。）のソフトウェア（自己診断ツール。以下「本ソフトウェア」という。）について、以下の内容に同意の上、使用します。本ソフトウェアは、本カードリーダー機にあらかじめインストールされた状態で提供されるものとします。お客様が、本カードリーダー機を使用開始した時点、または本ソフトウェアを利用した時点のいずれか早い時点において、本使用許諾条件の内容に同意したものとみなされます。

1. 使用条件

パナソニックは、お客様が本使用許諾書に定める全ての事項を遵守することを条件として、本カードリーダー機の動作確認、故障切り分けおよび保証対応の補助を目的としてのみ使用することを許諾します。本ソフトウェアの使用許諾期間は、本カードリーダー機をお客様が使用できる期間に限定されます。

2. 禁止事項

- (1) お客様は、本使用許諾書で定められた使用条件の範囲を超えて、本ソフトウェアの全部又は一部を複製してはなりません。
- (2) お客様は、本ソフトウェアを、ドキュメント等に記載された使用方法以外の方法で使用してはなりません。
- (3) お客様は、本ソフトウェアの全部又は一部を、本ソフトウェア単体で、又は本使用許諾書で認められる範囲を超えて第三者に対して頒布、送信（自動公衆送信、送信可能化を含む）、貸与、譲渡、リース、担保権設定、転売等してはなりません。
- (4) お客様は、本ソフトウェアの使用を第三者に対して、パナソニックの承諾なく再許諾してはなりません。
- (5) お客様は、本ソフトウェアのリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル、改変、又は本ソフトウェアに係る著作権表示の削除を行ってはならず、第三者に対してもこれらの行為を行わせないよう必要な措置を講じるものとします。
- (6) 本カードリーダー機の返却、使用終了または廃棄時には、本ソフトウェアおよび提供物は、本カードリーダー機とともに返却されるものとし、一切を保持してはなりません。

3. 免責事項

- (1) 本ソフトウェアは現状有姿で提供されます。本ソフトウェアの使用により何らかの欠陥や損害が生じた場合であっても、パナソニックは一切の責任を負いません。
- (2) パナソニックは、本ソフトウェアの動作保証、特定目的への適合性、他のソフトウェアとの互換性、商品性、使用結果の正確性・信頼性、第三者の権利侵害に関する責任、瑕疵担保責任その他いかなる責任も負いません。
- (3) パナソニックは、独自の判断により提供物の変更・差替・提供中止・回収等を行う場合があります。
- (4) 自己診断ツールによっても解決しない不具合、障害またはその他問題が発生した場合、お客様は、自己の責任と費用において、お客様が締結している販売元（医療ベンダ等）との保守契約またはサポート契約に基づき、当該販売元へ通知または対応を依頼するものとします。

4. 知的財産権等

- (1) 本ソフトウェアに関する著作権、特許権、実用新案権、商標権、営業秘密を含む一切の権利はパナソニックまたは当該権利を保有する第三者に帰属します。お客様及びいかなる第三者も、本使用許諾書に明示的に許諾された範囲を超えて本ソフトウェアに関する権利を取得するものではありません。
- (2) お客様が、本ソフトウェアに関連して改善、改良その他の提案をパナソニックに対して行った場合、お客様は、当該提案等についてパナソニックが自由に利用することを許諾するものとします。
- (3) 本ソフトウェアについて、お客様が第三者から知的財産権の侵害に関する通知を受ける、又は第三者との間で紛争が生じた場合には、お客様は直ちにパナソニックに通知するものとします。なお、お客様が本使用許諾書の定めを遵守していることを条件として、パナソニックは自らの責任と負担において当該第三者との紛争を解決するものとします。お客様は紛争対応のために必要な権限及び十分な情報をパナソニックに提供し、協力するものとします。

5. 仕様変更または更新

- (1) パナソニックは、本ソフトウェアの仕様を任意に変更、追加、削除できるものとします。
- (2) 本ソフトウェアの更新があった場合は、パナソニックの指定するwebサポートページに公開し、お客様は公開された手順に従って本ソフトウェアの更新をするものとします。

6. 一般条項

- (1) お客様が本使用許諾書に違反したことによりパナソニックに生じた損害については、パナソニックはお客様に対して賠償を請求できるものとします。
- (2) 本使用許諾書に定めのない事項については、パナソニックとお客様とで締結した契約書（売買契約、保守契約など）に記載した条件を適用するものとします。

インストール方法

詳しくは取扱説明書（本体編）をご参照ください

3.8 自己診断ツール

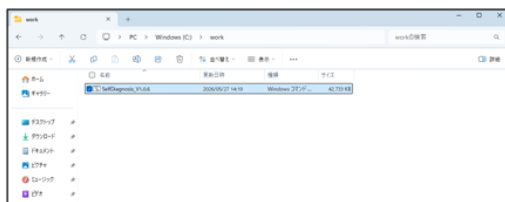
本製品には、動作状態をお客様ご自身で確認できる「自己診断ツール」が搭載されています。本ツールでは、機器の動作を実際にご確認いただきながら、画面の案内に従って診断をおこなうことができます。

以下の手順に従って、セットアップを行ってください。

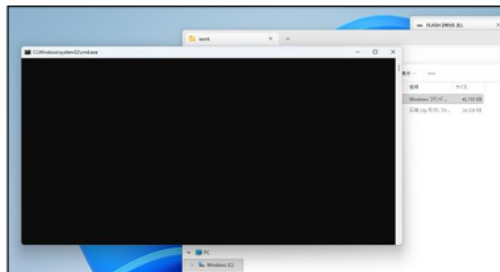
【初期セットアップ方法】

- ① 以下のフォルダにある SelfDiagnosis_Vx.x.x.x をダブルクリックします。

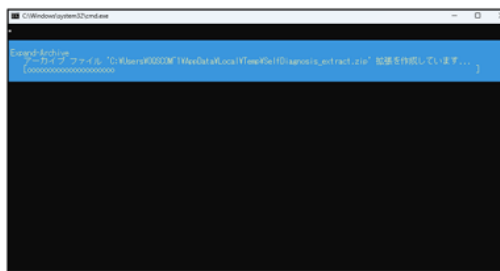
C:\work\SelfDiagnosis_V x.x.x.x X.X.X はバージョン情報



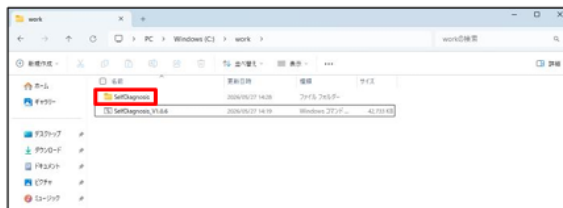
- ② cmd プロンプトが立ち上がりますので、しばらくそのまま待ちます。



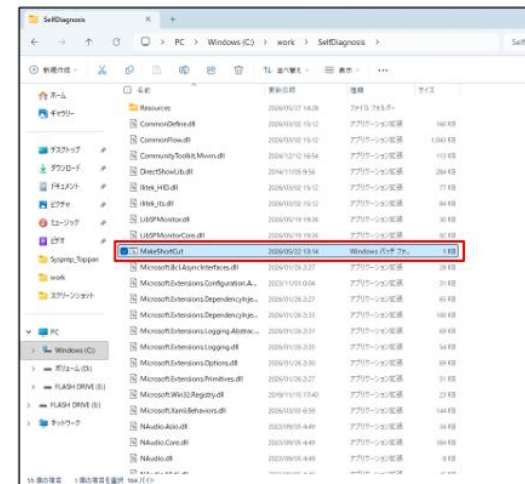
しばらくするとプログラムが展開され、フォルダが生成されます。



- ③ 生成された SelfDiagnosis フォルダを確認し、フォルダの中を確認します。



- ④ フォルダの中にある「MakeShortCut」をクリックします。すると、デスクトップ上にプログラムのショートカットが作成されます。



- ⑤ ショートカットアイコンの確認

デスクトップ上に以下のショートカットが作成されたことを確認します。本ショートカットをクリックすると自己診断ツールが起動します。



自己診断ツール

目次

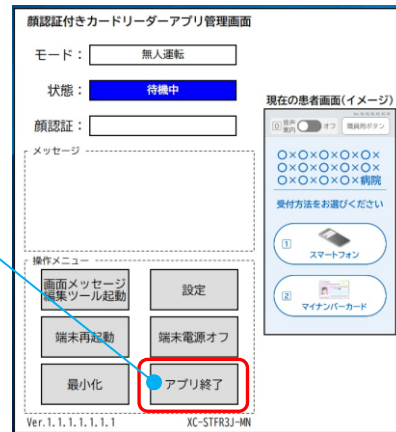
1. [起動方法](#)
2. [自己診断ツール 画面概要](#)
3. [ハードウェア診断](#)
4. [Windows設定](#)
5. [バックアップ確認](#)
[補足](#)

1. 起動方法

- ① 顔認証付きカードリーダーのアプリケーションを終了してください。 ※1
(端末画面が消灯し、背面インジケーターが「青」になっていることを確認してください。)

①

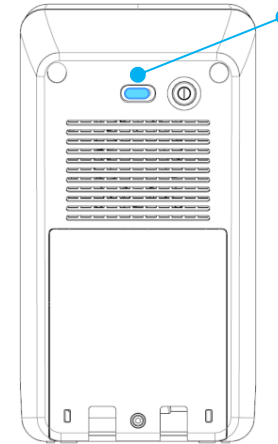
アプリケーションの終了
管理画面からアプリ終了を押します。



背面インジケーター

②

顔認証付きカードリーダーアプリ管理画面が終了し、背面インジケーターが「青」になっていることを確認します。



- ② SelfDiagnosis.exe のアイコンをダブルクリックしますと、自己診断ツールが起動します。 ※2



※1 資格確認の顔認証アプリとは同時動作させることはできません。

※2 すべての機能を利用するには本プログラムを管理者権限で実行する必要があります。

2. 自己診断ツール 画面概要

システム状態サマリ画面

ハードウェア診断タブ

タイトルとバージョン情報

Windows設定タブ

バックアップ確認タブ

デバイス選択

終了ボタン

The screenshot shows the 'XC-STFR3J-MN 自己診断ツール v1.0.0' window. The title bar includes the application name and version. The main content area is divided into sections. At the top, there's a 'システム状態サマリ' (System Status Summary) section with a table showing counts for '動作OK' (Operational OK), '動作NG' (Operational NG), and '未実施' (Not performed) for 'ハードウェア診断' (Hardware diagnosis), 'Windows設定' (Windows settings), and 'バックアップ確認' (Backup confirmation). Below this is a tabbed interface with three tabs: 'ハードウェア診断 (10項目)' (Hardware diagnosis (10 items)), 'Windows設定 (3項目)' (Windows settings (3 items)), and 'バックアップ確認' (Backup confirmation). The 'ハードウェア診断' tab is active, displaying ten diagnostic items in a grid. Each item has an icon, a name, a radio button for '未実施' (Not performed), a field for '実施日時' (Execution date/time), and a '診断開始' (Start diagnosis) button. The items are: LED, FAN, ディスプレイ (Display), 券面カメラ (Ticket camera), 顔カメラ (Face camera), カード読み取り (Card reading), スマホ読み取り (Smartphone reading), タッチパネル (Touch panel), スピーカー (Speaker), and テンキー (Numeric keypad). The '顔カメラ' (Face camera) item is highlighted with a dashed blue box. At the bottom right of the window is a blue button labeled '終了' (End). The status bar at the very bottom shows the file path 'C:\work\自己診断アプリ\自己診断v1.0.0\logs'.

	動作OK	動作NG	未実施
ハードウェア診断	0	0	10
Windows設定	0	0	3
バックアップ確認	0	0	1

項目	未実施	実施日時	診断開始
LED	☐	—	診断開始
FAN	☐	—	診断開始
ディスプレイ	☐	—	診断開始
券面カメラ	☐	—	診断開始
顔カメラ	☐	—	診断開始
カード読み取り	☐	—	診断開始
スマホ読み取り	☐	—	診断開始
タッチパネル	☐	—	診断開始
スピーカー	☐	—	診断開始
テンキー	☐	—	診断開始

ハードウェア診断（10項目）

3. ハードウェア診断

顔認証付きカードリーダーの各デバイスを個別に判定する機能を提供します。



「診断開始」を押すと各デバイス別に診断が開始します。

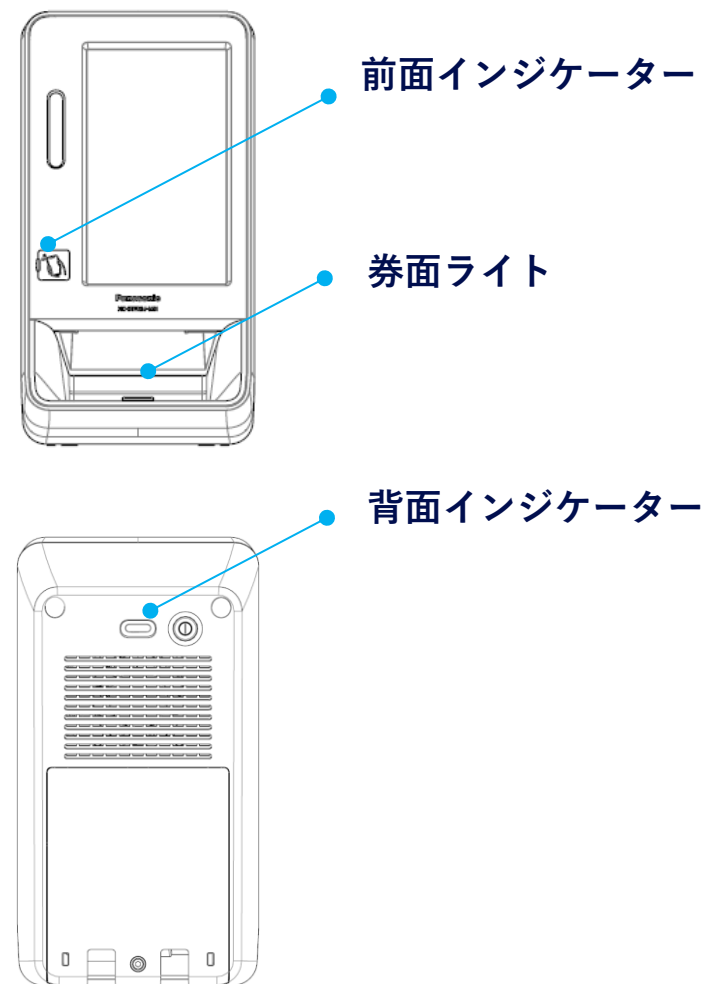
診断が終了すると、診断結果が表示されます。
システム状態サマリ欄にも結果が反映表示されます。

3-1. ハードウェア診断：LED診断①

対象：前面インジケータ、券面ライト、背面インジケータについて点灯を目視確認します。

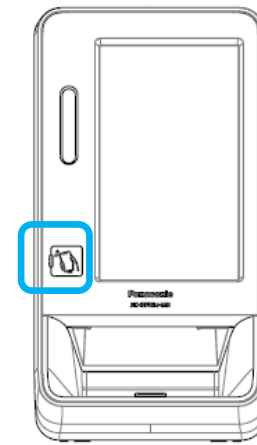
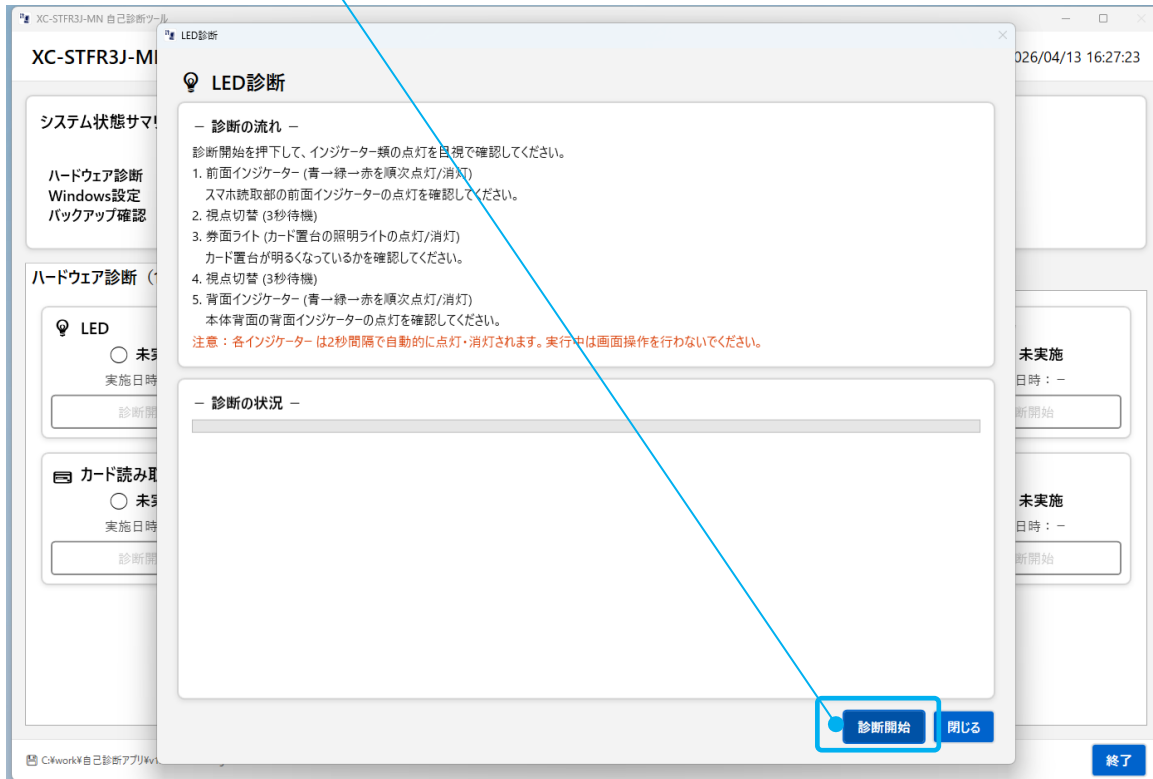
診断手順：

① 「診断開始」を押す。

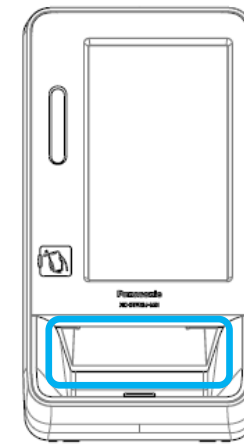


3-1. ハードウェア診断：LED診断②

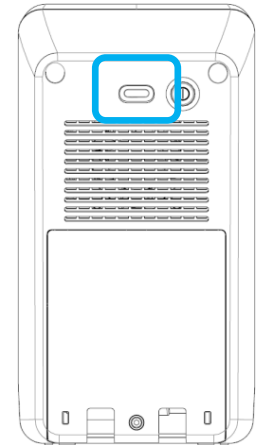
② 「診断開始」を押すとLED診断が始まります。



前面インジケータ
青→緑→赤に順次点灯



券面ライト
点灯（白）



背面インジケータ
青→緑→赤に順次点灯

正しく発光するかをユーザーが目視で確認します。

3-1. ハードウェア診断：LED診断③

③ 終了画面が表示されます。



⑥ 判定結果が表示されます。



④ 判定を実施します。(ユーザーが判定します。)
問題なければ 「動作OK」
異常があれば 「動作NG」

3-2. ハードウェア診断：FAN診断①

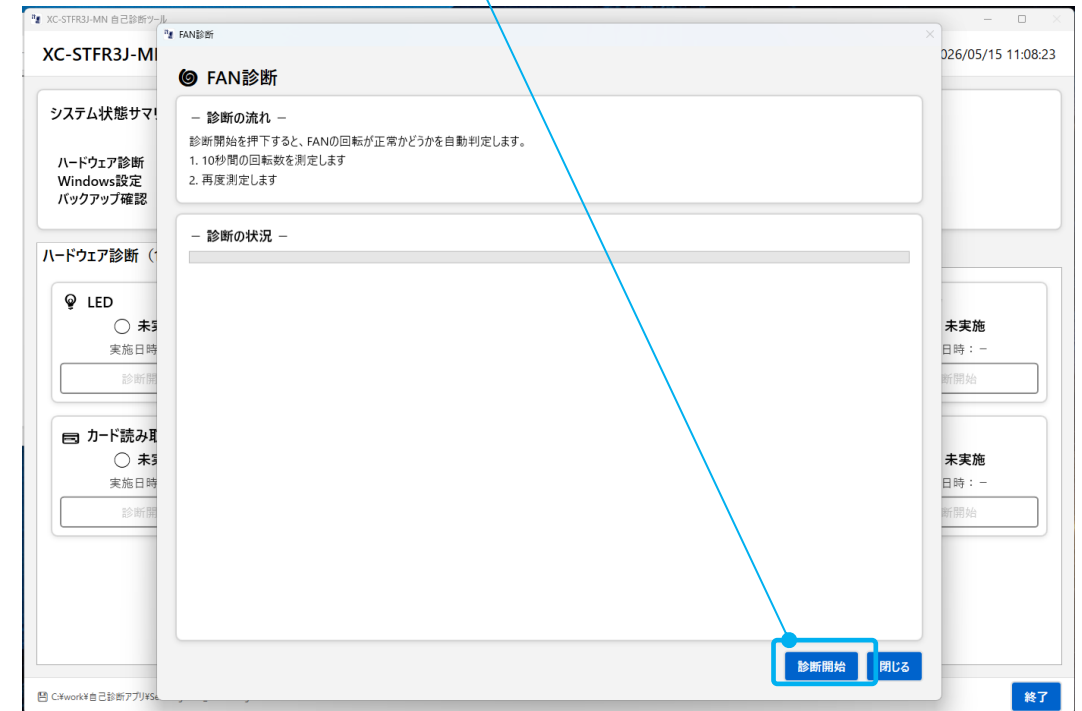
対象：FANが正しく動作するかを自動判定します。

診断手順：

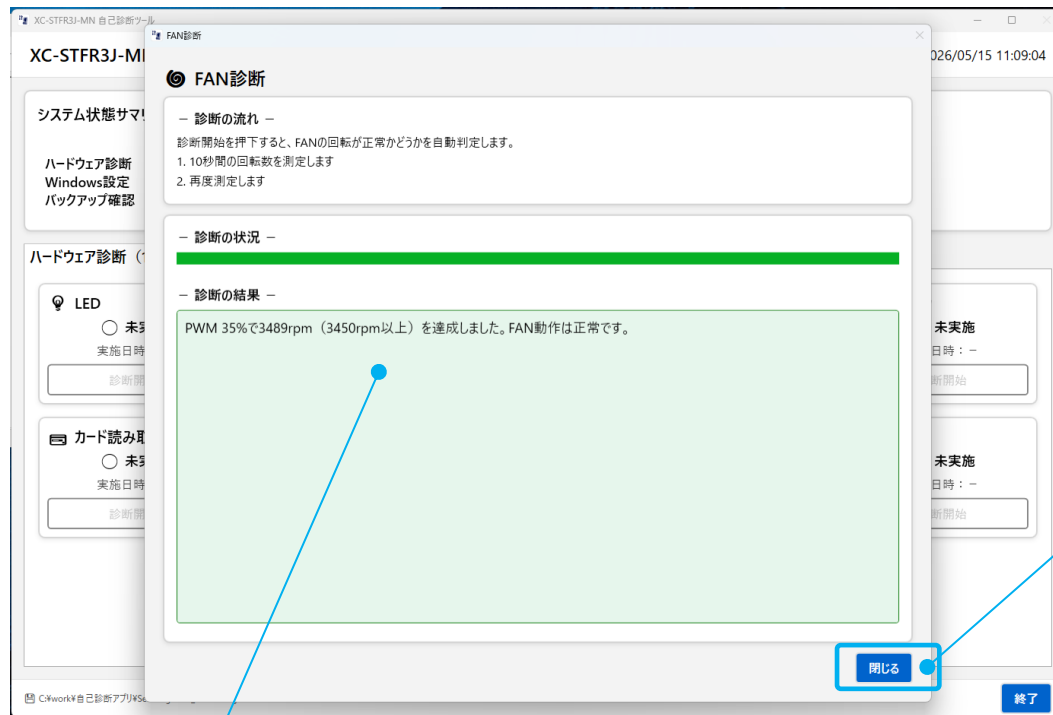
① 「診断開始」を押す。



② 「診断開始」を押すとFAN診断が開始します。



3-2. ハードウェア診断：FAN診断②



③ FANは自動で診断判定し、診断結果を確認します。（診断画面）

④ 「閉じる」を押して終了します。

3-3. ハードウェア診断：ディスプレイ診断①

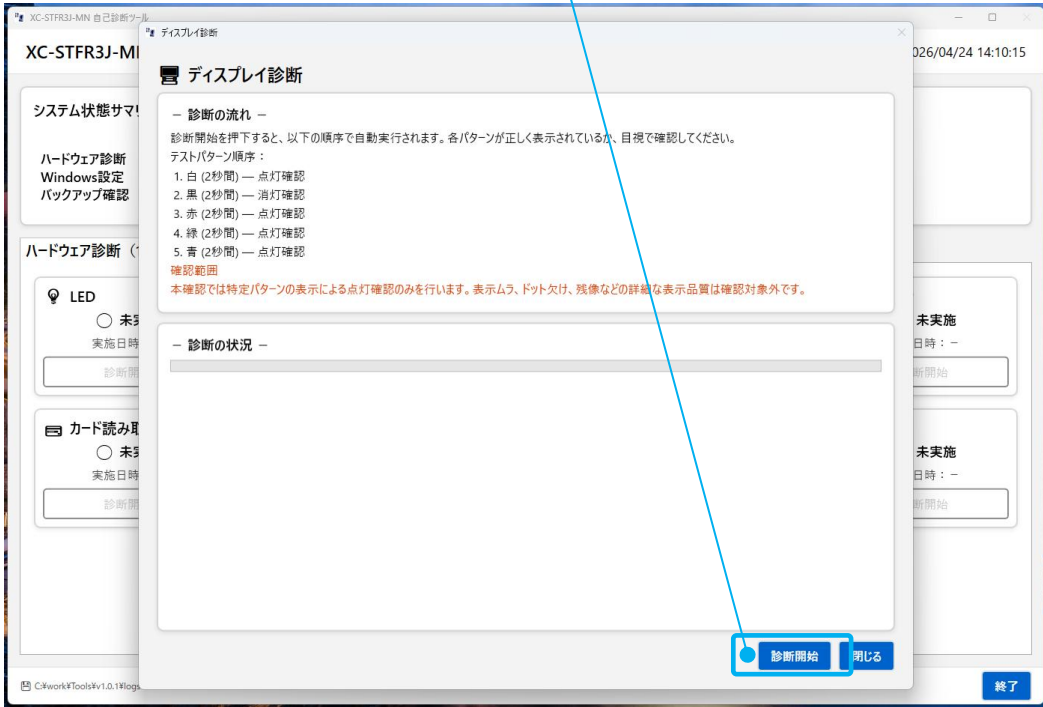
対象：LCDタッチパネルにテストパターンが正しく表示されるかを目視確認します。

診断手順：

① 「診断開始」を押す。

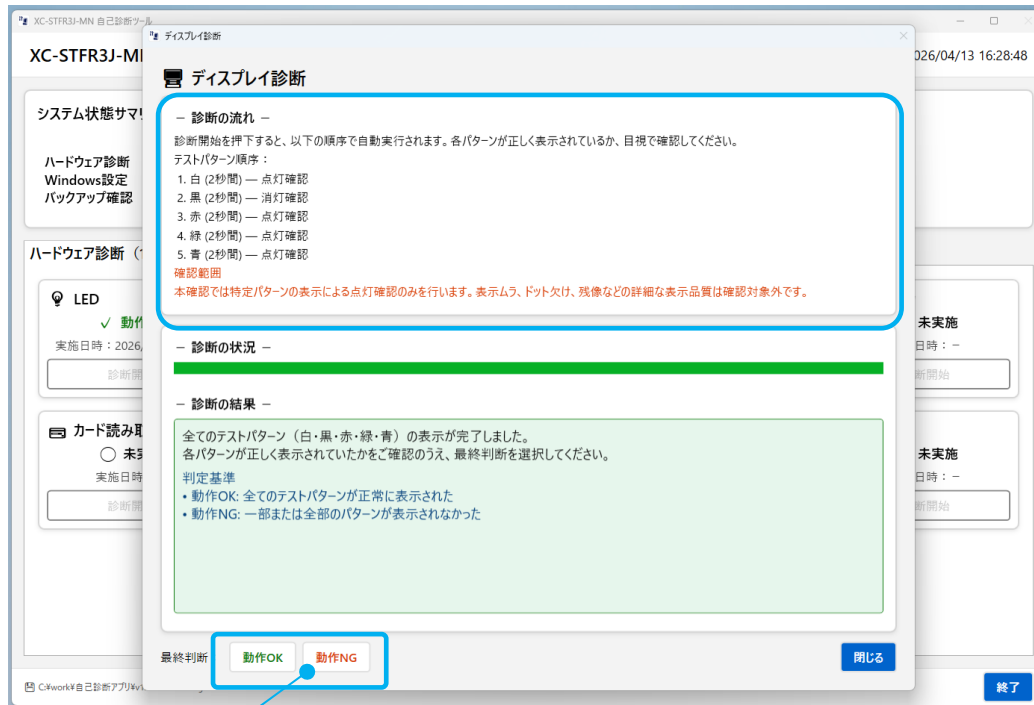
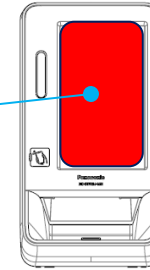


② 「診断開始」を押すとディスプレイ診断が開始します。



3-3. ハードウェア診断：ディスプレイ診断③

③ LCDタッチパネルに所定のパターンが表示されます。



④ テストパターンが正しく表示されたら「動作OK」、異常がある場合は「動作NG」を押します。

3－4．ハードウェア診断：券面カメラ診断①

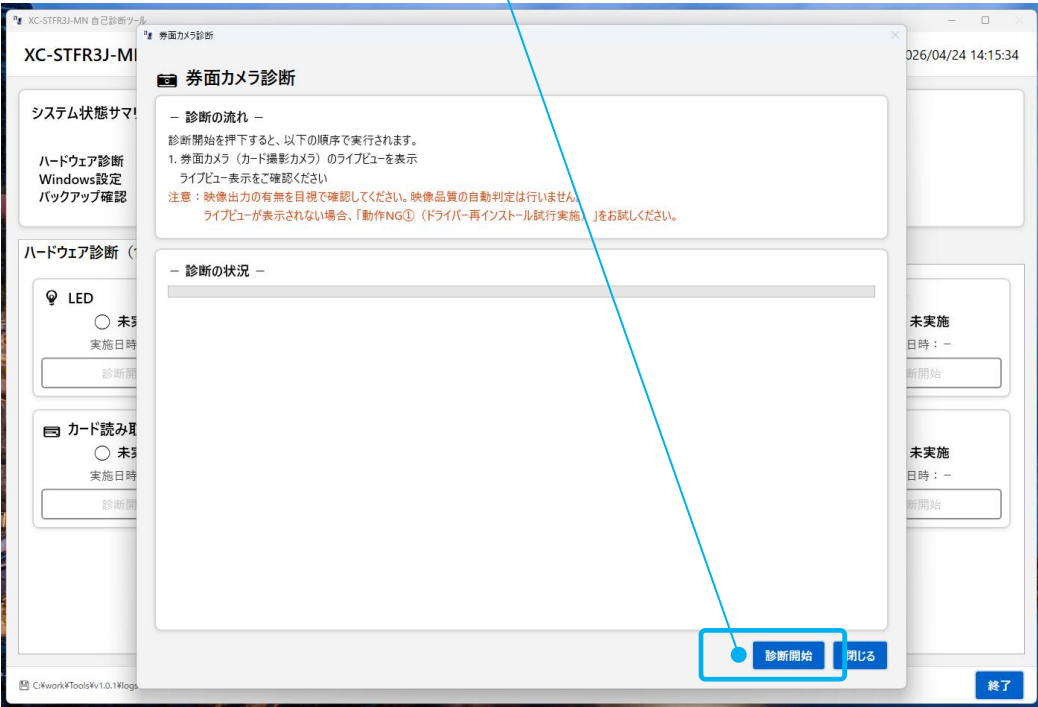
対象：券面カメラが正しく動作するかを目視確認します。

診断手順：

① 「診断開始」を押す。

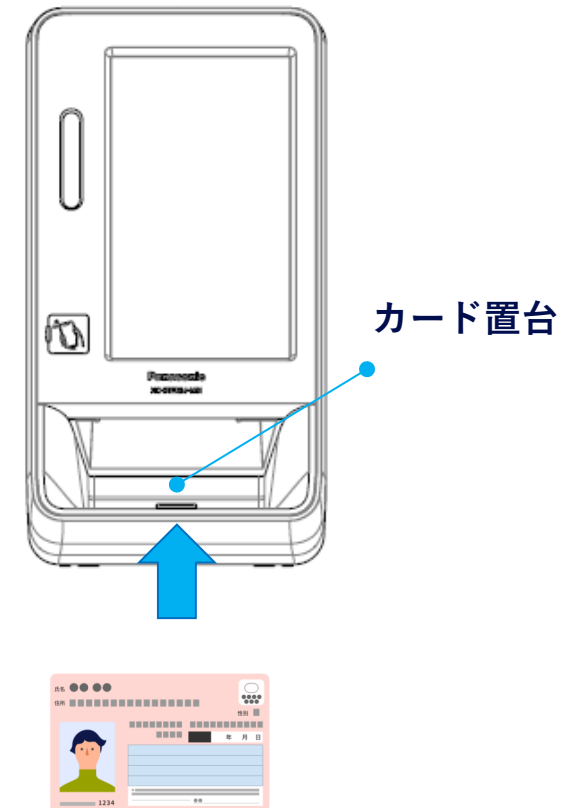
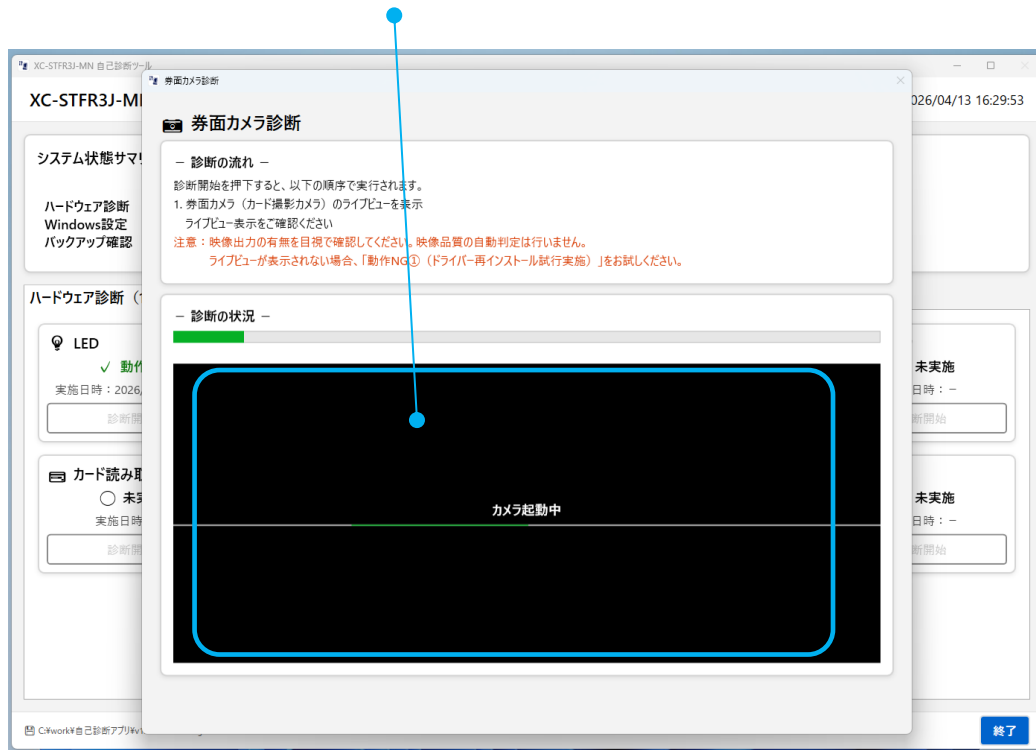


② 「診断開始」を押すと券面カメラ診断を開始します。



3-4. ハードウェア診断：券面カメラ診断②

③ 診断画面が起動し、券面カメラが起動します。



④ マイナンバーカード等をカード置台に挿入します。

3-4. ハードウェア診断：券面カメラ診断③

⑤ 券面カメラからの映像が出力されていることを確認します。

注) カード挿入方向と上下逆に表示されるのは正しい動作となります



⑥ 確認後、「診断終了」を押します。

注) 撮影時においては券面ライトは点灯しません

3-4. ハードウェア診断：券面カメラ診断④



⑦ 挿入したカードが表示された場合

「動作OK」を押します。

表示されない、真っ白になる等、挿入したカードが表示されない場合、
ドライバーの再インストールを試みる事が可能です。その場合は、

「動作NG①（ドライバー再インストール試行実施）」を押します。

すでにドライバー再インストール試行済でしたら、

「動作NG②（ドライバー再インストール試行済み）」を押します。

以下のような表示が出た場合



※ドライバー再インストールには、管理者権限で動作している必要があります。管理者権限で実行していない場合は左図のようなエラーが表示されます。管理者権限の実行方法は、「補足」の章をご確認ください。

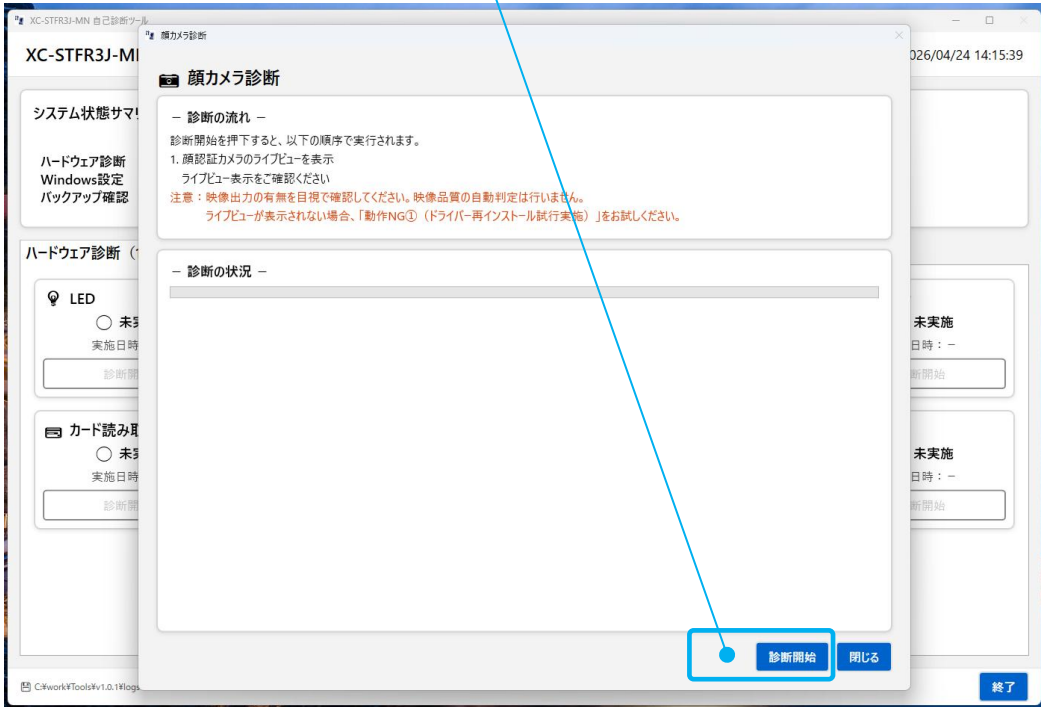
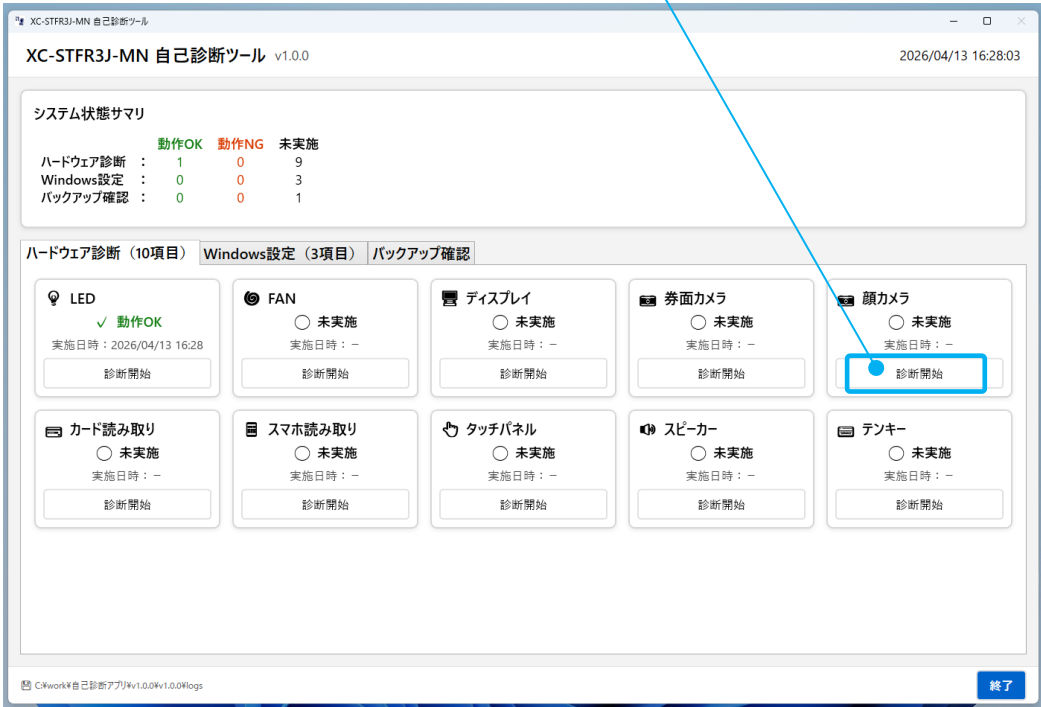
3-5. ハードウェア診断：顔認証カメラ診断①

対象：顔認証カメラが正しく動作するかを目視確認します。

診断手順：

① 「診断開始」を押す。

② 「診断開始」で顔認証カメラ診断を開始します。

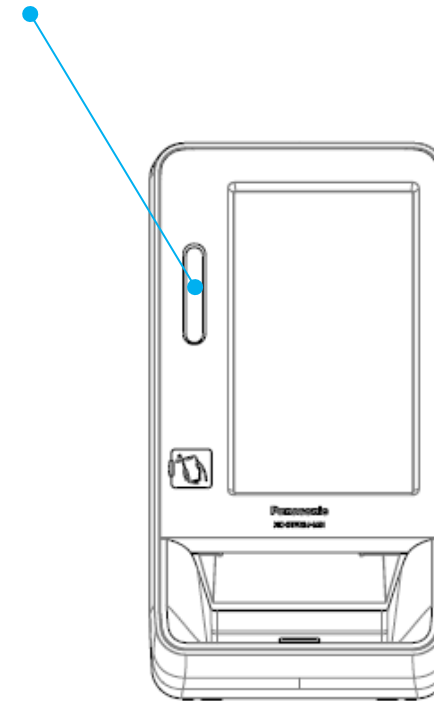


3-5. ハードウェア診断：顔認証カメラ診断②

③ 診断画面が起動し、顔認証カメラが起動します。

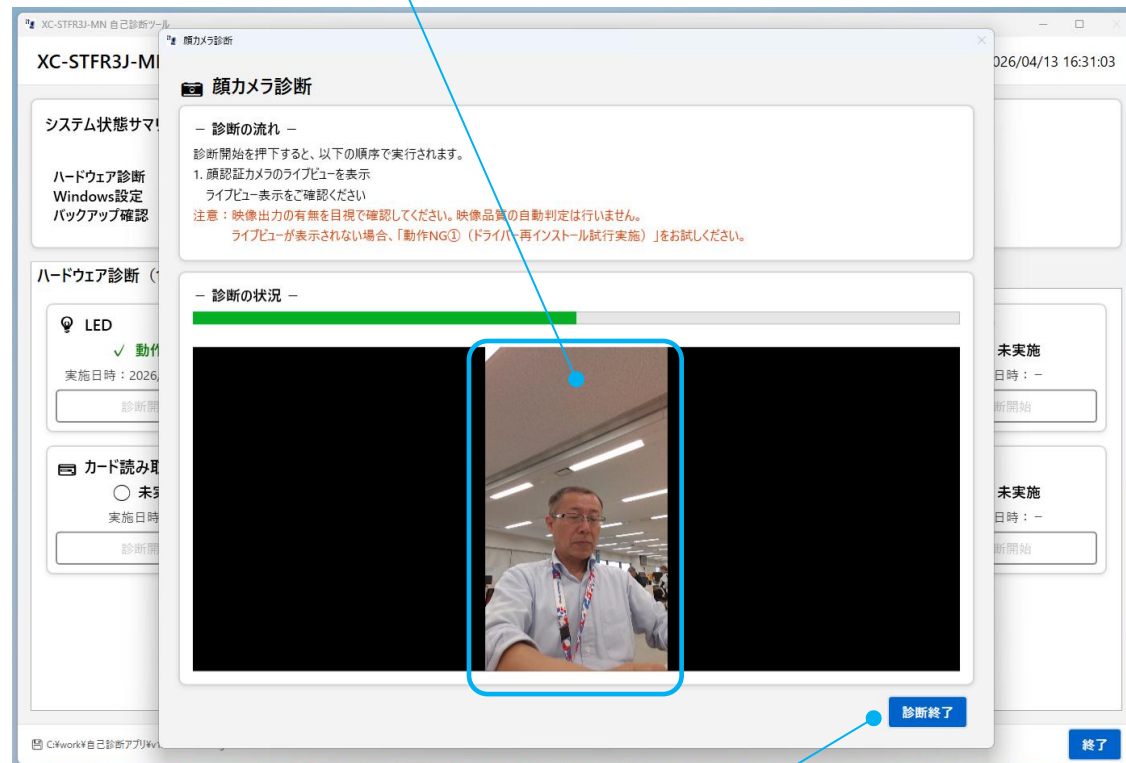


④ 顔認証カメラの前に立ちます。



3-5. ハードウェア診断：顔認証カメラ診断③

⑤ 顔認証カメラからの映像が出力されることを確認します。



⑥ 確認後、「診断終了」を押します。

3-5. ハードウェア診断：顔認証カメラ診断④



⑦ 正しくカメラの前の人物が表示された場合

「動作OK」を押します。

表示されない、真っ白になる等、正しく表示されない場合、
ドライバーの再インストールを試みる事が可能です。その場合は、

「動作NG① (ドライバー再インストール試行実施)」を押します。

すでにドライバー再インストール試行済でしたら、

「動作NG② (ドライバー再インストール試行済)」を押します。

以下のような表示が出た場合



※ドライバー再インストールには、管理者権限で動作している必要があります。管理者権限で実行していない場合は左図のようなエラーが表示されます。管理者権限の実行方法は、「補足」の章をご確認ください。

3-6. ハードウェア診断：カード読み取り①

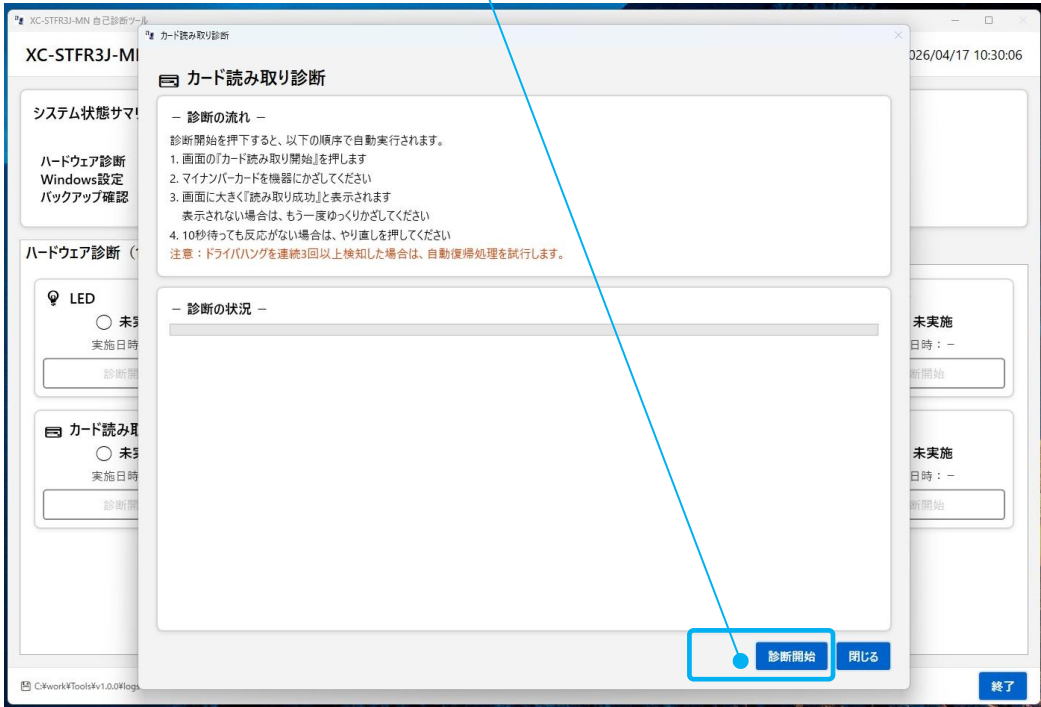
対象：カード読取部が正しく動作するか確認します。

診断手順：

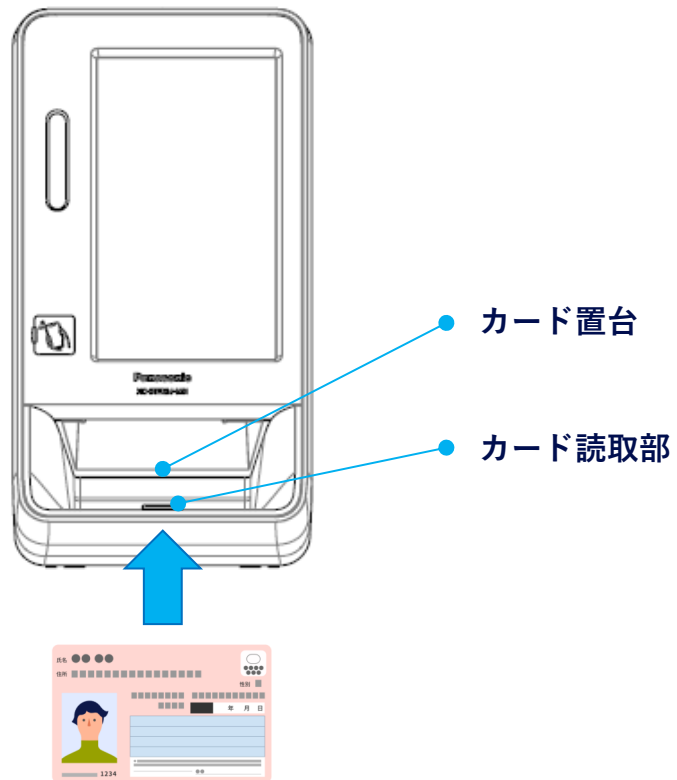
① 「診断開始」を押す。



② 「診断開始」を押すとカード読取診断を開始します。

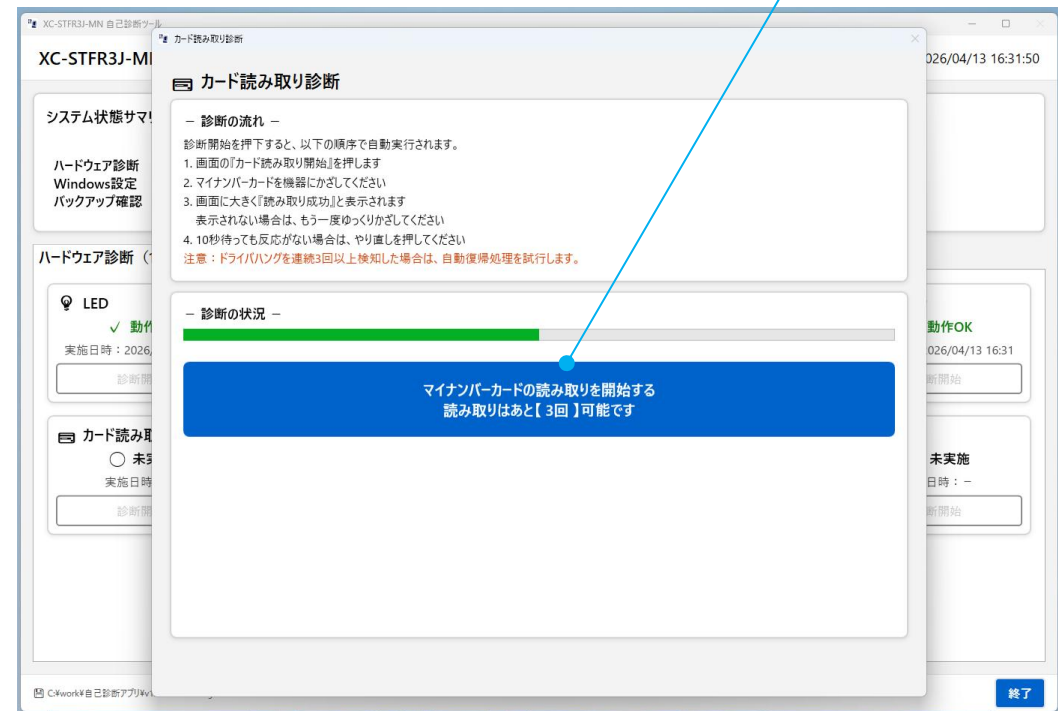


3-6. ハードウェア診断：カード読み取り②



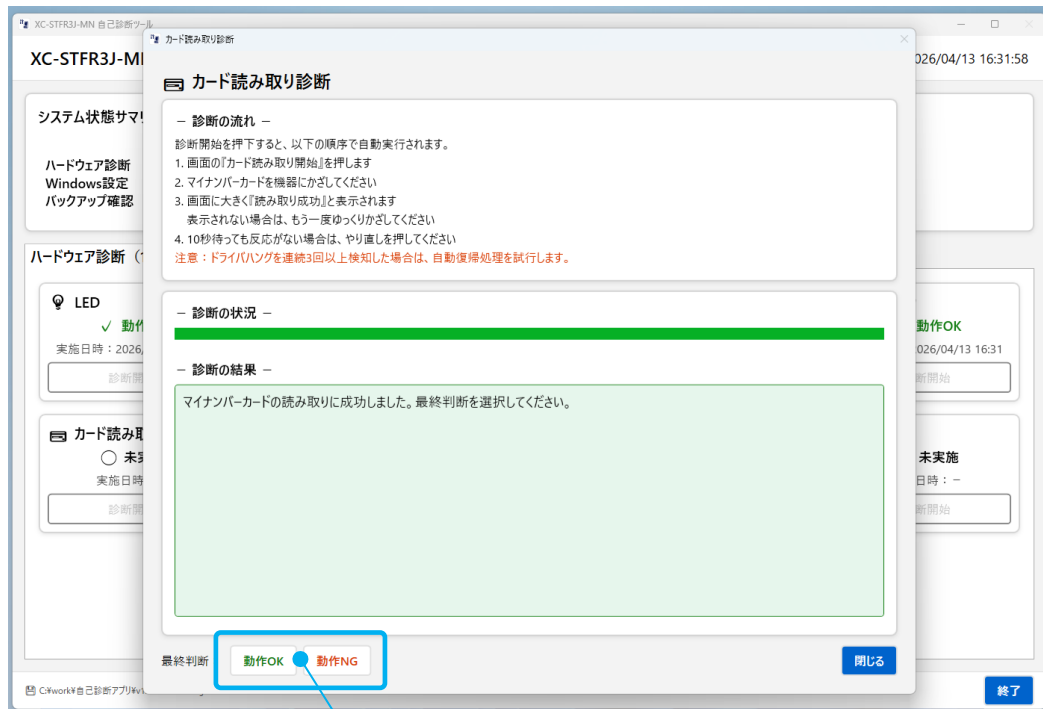
③ マイナンバーカードをカード置台に挿入します。

④ マイナンバーカードを挿入したら、「読み取り開始ボタン」を押します。



3-6. ハードウェア診断：カード読み取り③

⑤ 読み取りの成功を確認します。



⑥ 読み取りに成功したら「動作OK」を押し、失敗したら「動作NG」を押します。

3-7. ハードウェア診断：スマホ読み取り①

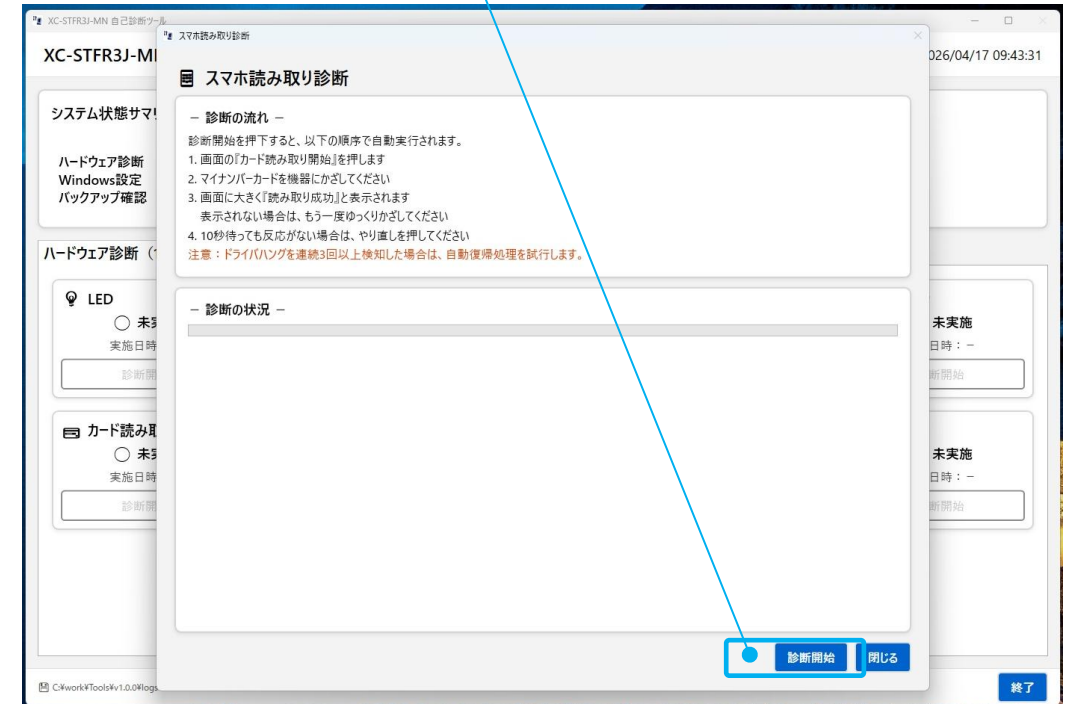
対象：スマホ読取部が正しく動作するかを確認します。

診断手順：

① 「診断開始」を押す。

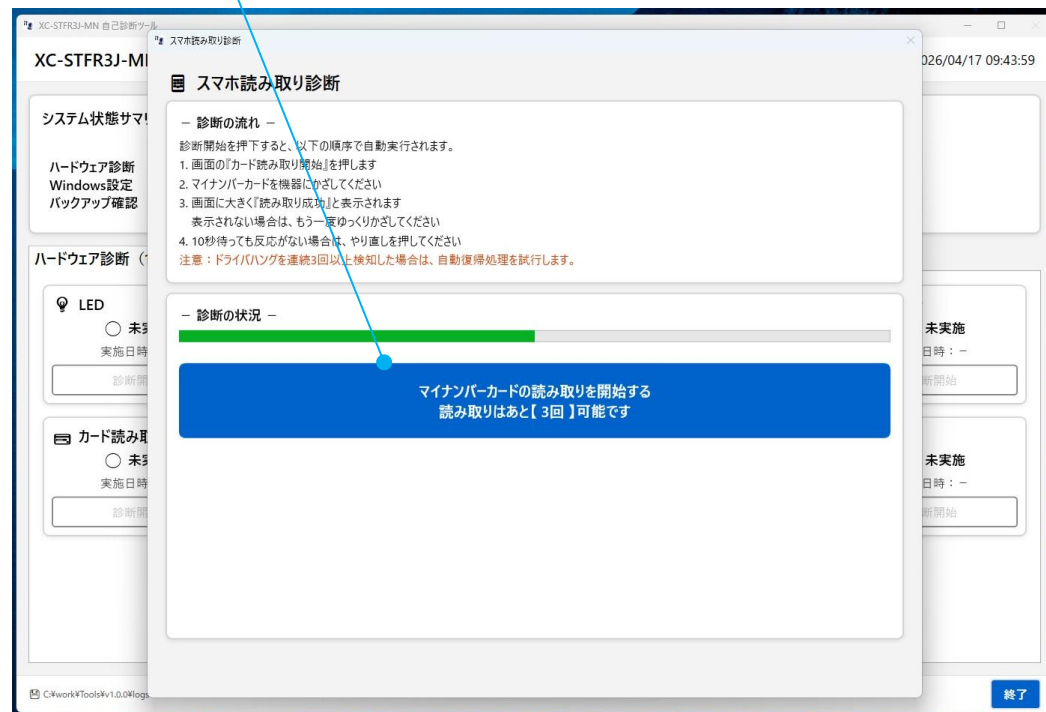


② 「診断開始」でスマホ読み取り診断を開始します。



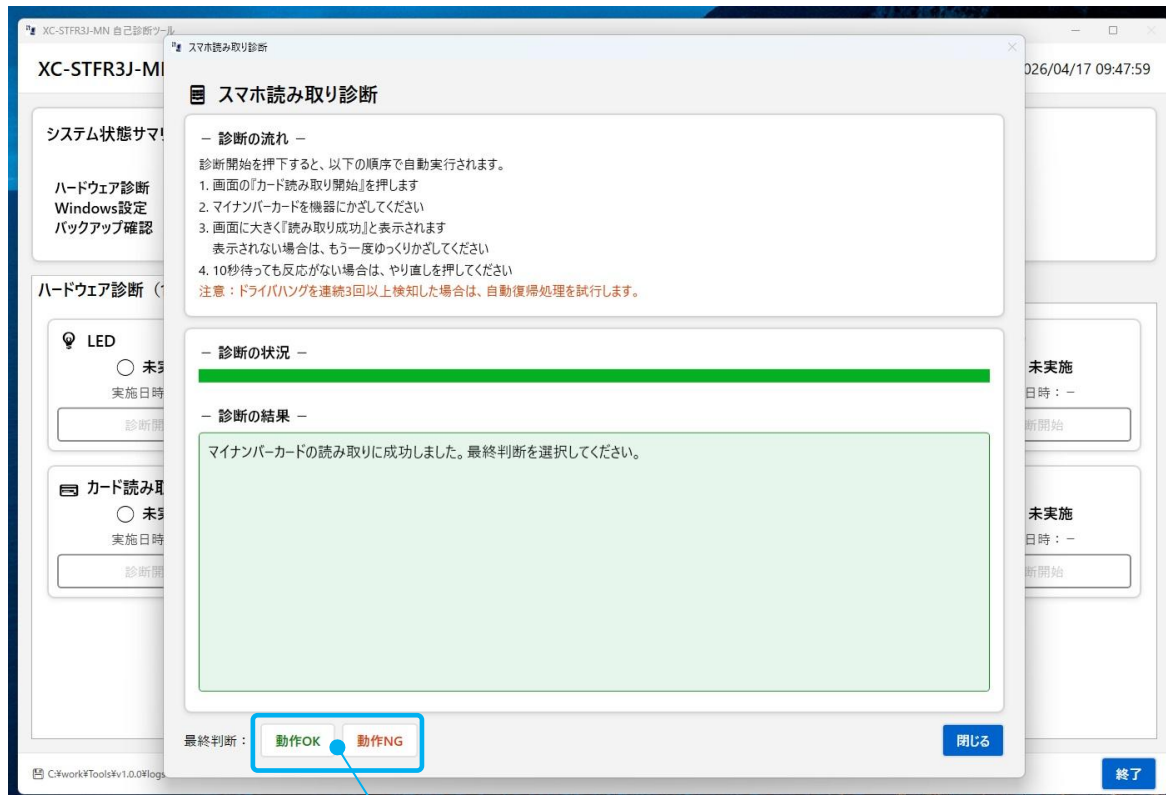
3-7. ハードウェア診断：スマホ読み取り②

③ 「読み取り開始ボタン」を押します。



④ マイナススマホ（あるいはマイナンバーカード）を
スマホ読取部にかざします。

3-7. ハードウェア診断：スマホ読み取り③



⑤ 読み取りに成功したら「動作OK」を押し、失敗したら「動作NG」を押します。

3－8. ハードウェア診断：タッチパネル①

対象：タッチパネルが正しく動作するかを確認します。

診断手順：

① 「診断開始」を押す。



② 「診断開始」を押すとタッチパネル診断を開始します。



3-8. ハードウェア診断：タッチパネル②

③ 端末画面がタッチ操作可能な状態になります。



④ 端末画面にタッチして、累積タップ回数がカウントアップすることを確認します。



⑤ 確認後、「診断終了」を押します。

3-8. ハードウェア診断：タッチパネル③



- ⑥ タッチした回数が正しく反映されていたら「動作OK」
正しく反映されない場合は「動作NG」を押します。

3-9. ハードウェア診断：スピーカー①

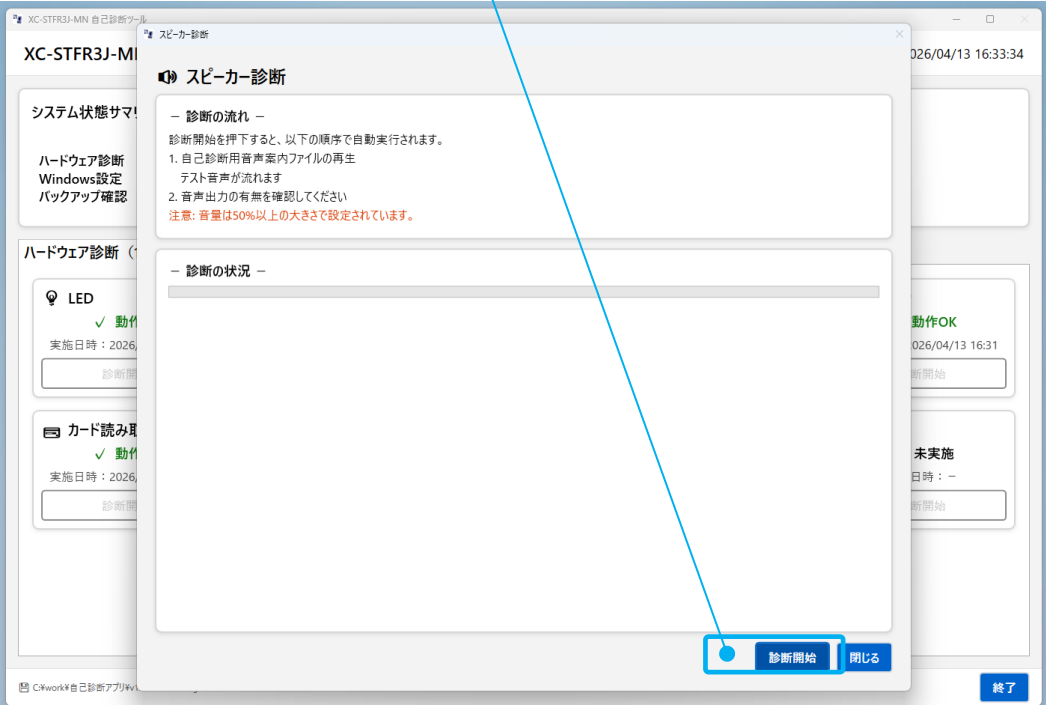
対象：スピーカーが正しく動作するかを確認します。

診断手順：

① 「診断開始」を押す。

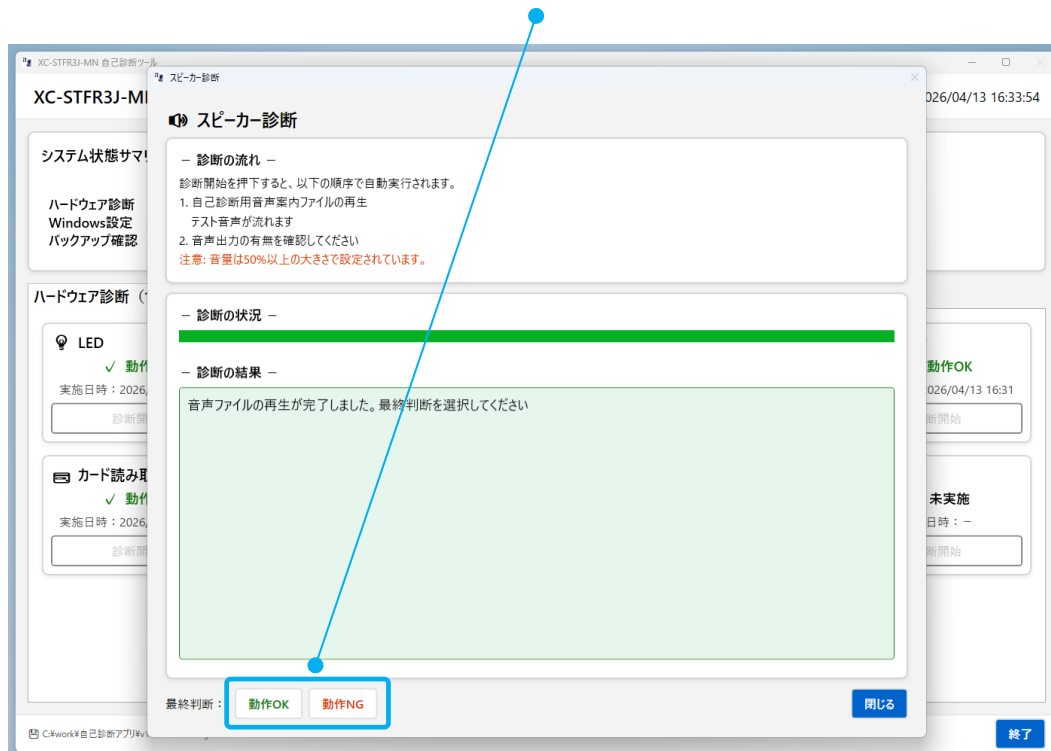


② 「診断開始」を押すとスピーカーの診断を開始します。
注意：大音量でメッセージが流れます



3-9. ハードウェア診断：スピーカー②

- ③ メッセージが再生されたら「動作OK」を押し、
されない場合は「動作NG」を押します。



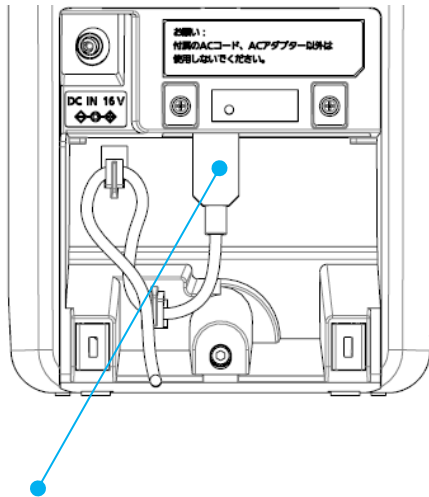
3-10. ハードウェア診断：物理テンキー①

対象：顔認証付きカードリーダー専用物理テンキー（別売品）が正しく動作するかを確認します。

診断手順：

事前に本体に顔認証付きカードリーダー専用物理テンキー※が、テンキーポートに接続されていることを確認してください。

顔認証付きカードリーダー本体背面



顔認証付きカードリーダー専用物理テンキーをテンキーポートに接続

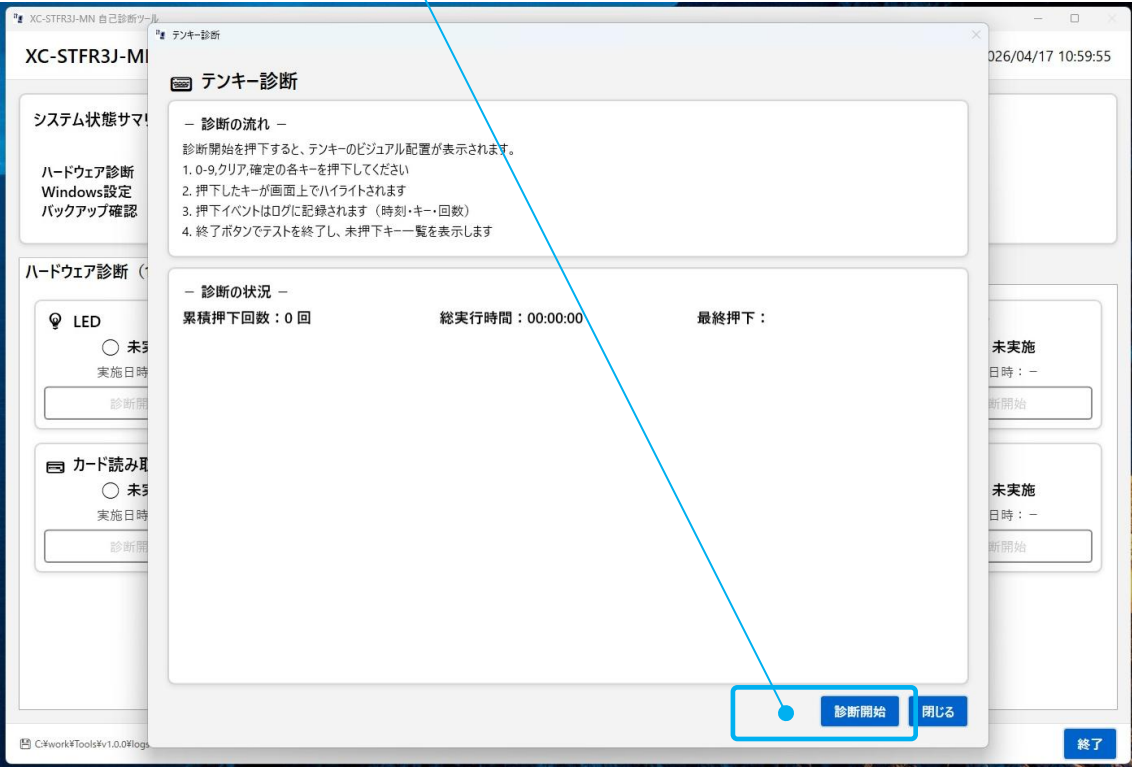
① 「診断開始」を押す。



※）顔認証付きカードリーダー専用物理テンキー（別売品）が顔認証付きカードリーダー本体に接続されていない場合は初期化エラーとなります。

3-10. ハードウェア診断：物理テンキー②

② 「診断開始」でテンキー診断を開始します。



- ③ テンキーを操作すると、押された位置に応じてハイライトされます。
- ④ 終了後、「診断終了」を押します。

3-10. ハードウェア診断：物理テンキー③

- ⑤ テンキーの診断が正しくできましたら「動作OK」を押し、キーの反応がないことが確認された場合は、「動作NG」を押します。



Windows設定（3項目）

4. Windows設定

顔認証付きカードリーダーのWindowsの設定を個別に判定する機能を提供します。



一括で工場出荷状態の設定にするにはこのボタンを押します。

4 – 1. Windows設定：NFC省電力①

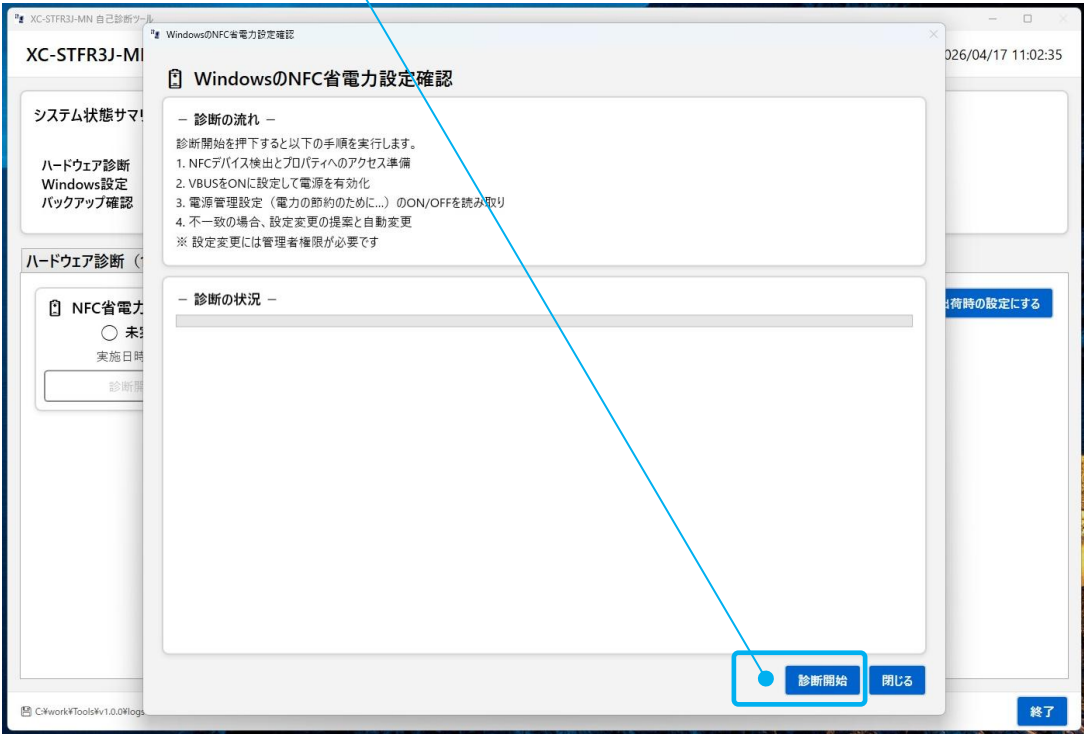
目的：NFCデバイス（ICカード読み取りデバイス）が省電力のために個別に休止状態に入ることを防止します。

診断手順：

① 「診断開始」を押す。

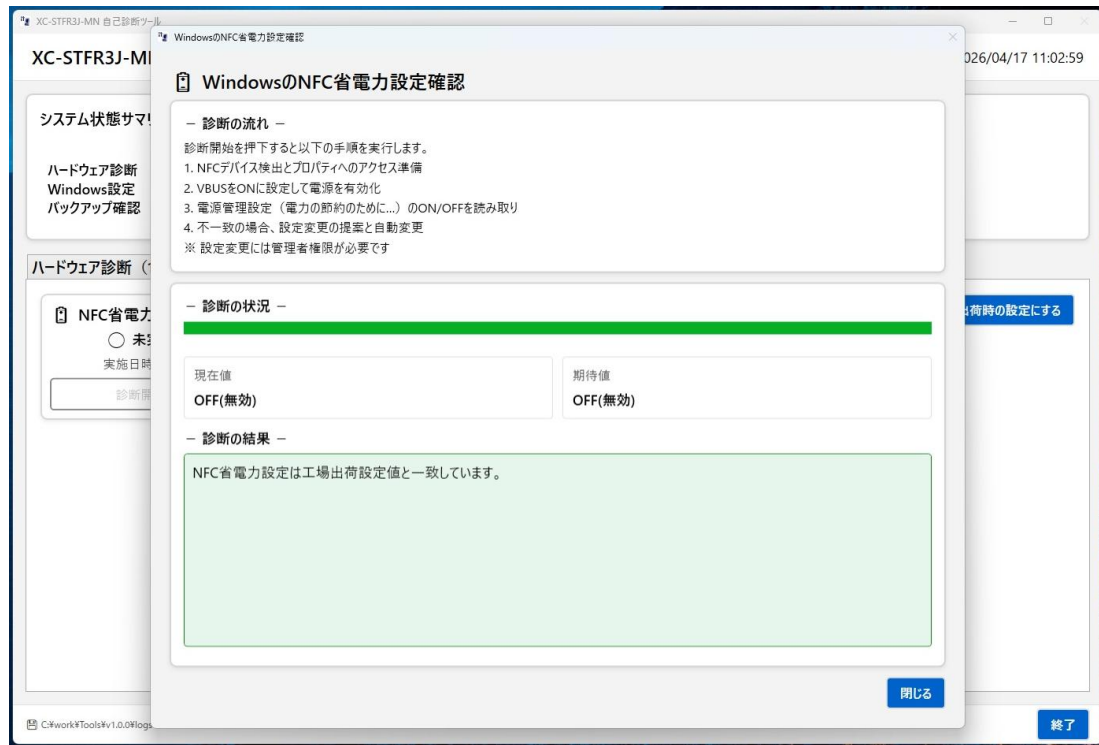


② 「診断開始」でNFC省電力設定確認を開始します。

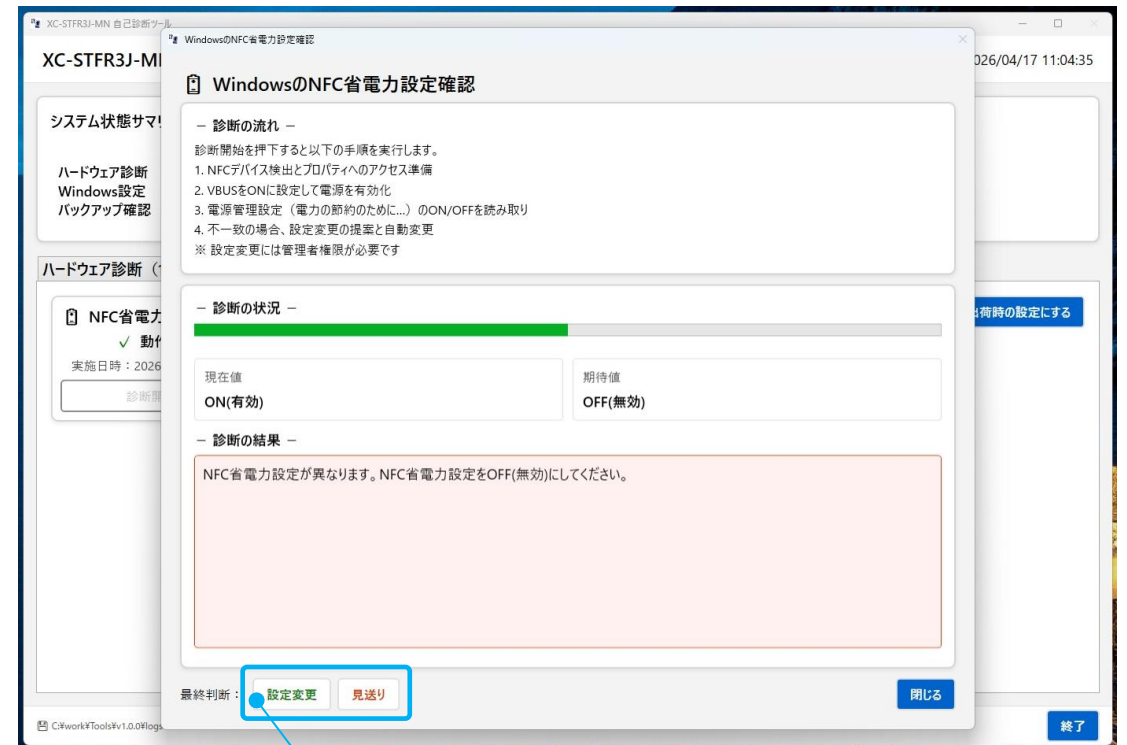


4 - 1. Windows設定：NFC省電力②

③ 工場出荷設定通りになっている場合（省電力無効）



③ 工場出荷設定と異なる場合（省電力有効）



- ④ 工場出荷設定に戻す場合は「設定変更」を押します。
（本アプリを管理者権限で実行していることが必要です。）

4 - 2. Windows設定：スリープ設定①

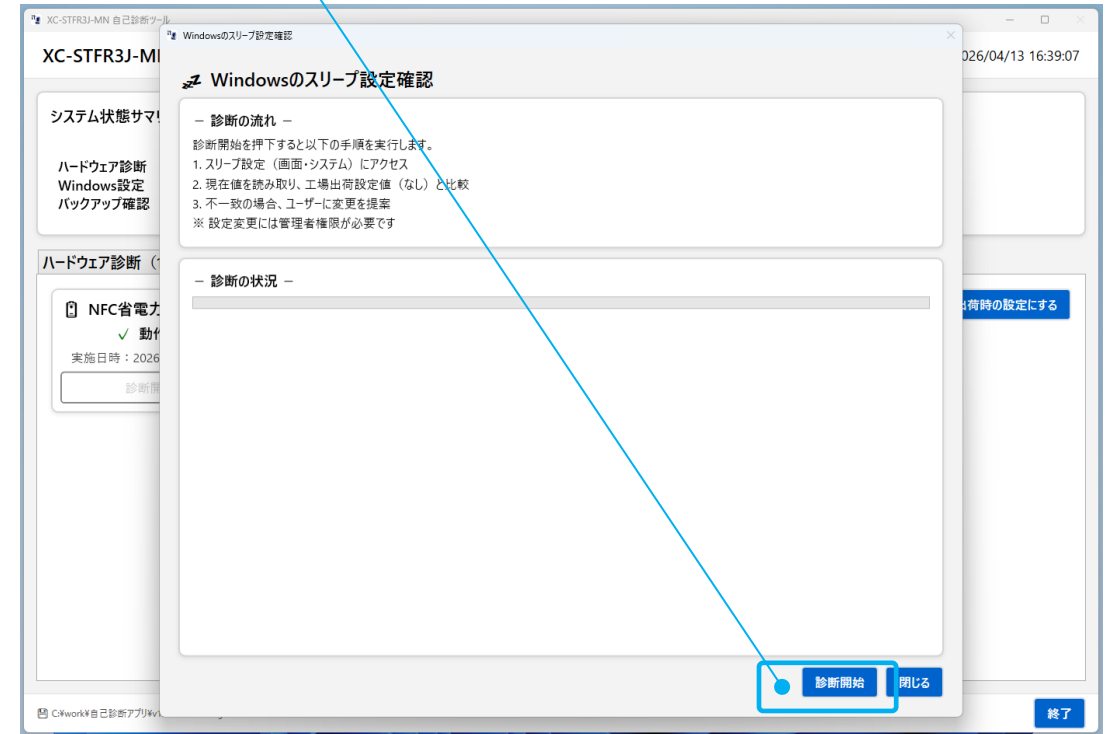
目的：Windows OS が休止状態に入ることを防止します。

診断手順：

① 「診断開始」を押す。

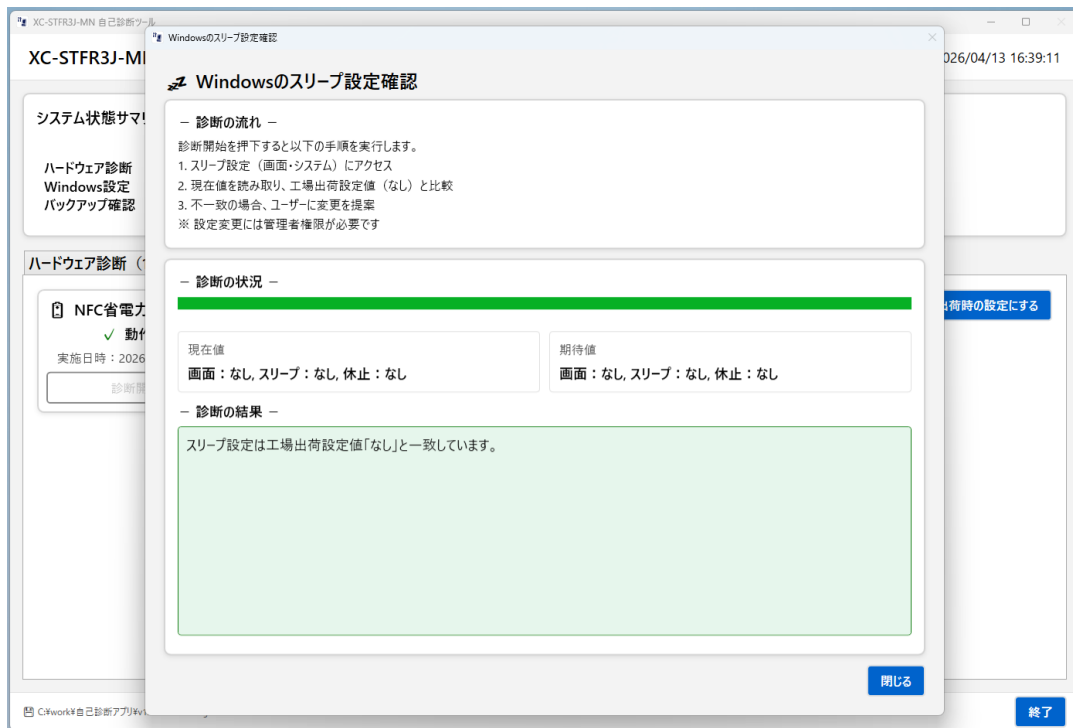


② 「診断開始」でスリープ設定確認を開始します。

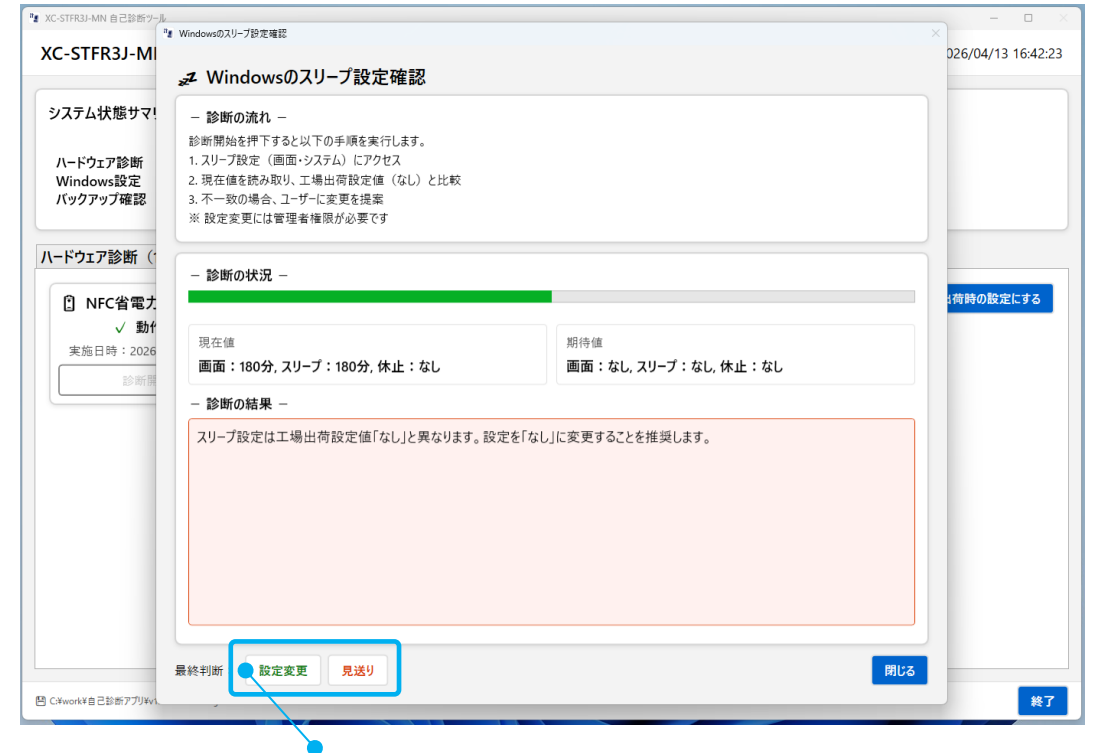


4 - 2. Windows設定：スリープ設定②

③ 工場出荷設定通りになっている場合（スリープ無効）



③ 工場出荷設定と異なる場合（スリープ有効）



- ④ 工場出荷設定に戻す場合は「設定変更」を押します。
(本アプリを管理者権限で実行していることが必要です。)

4 – 3. Windows設定：USBハブ省電力設定①

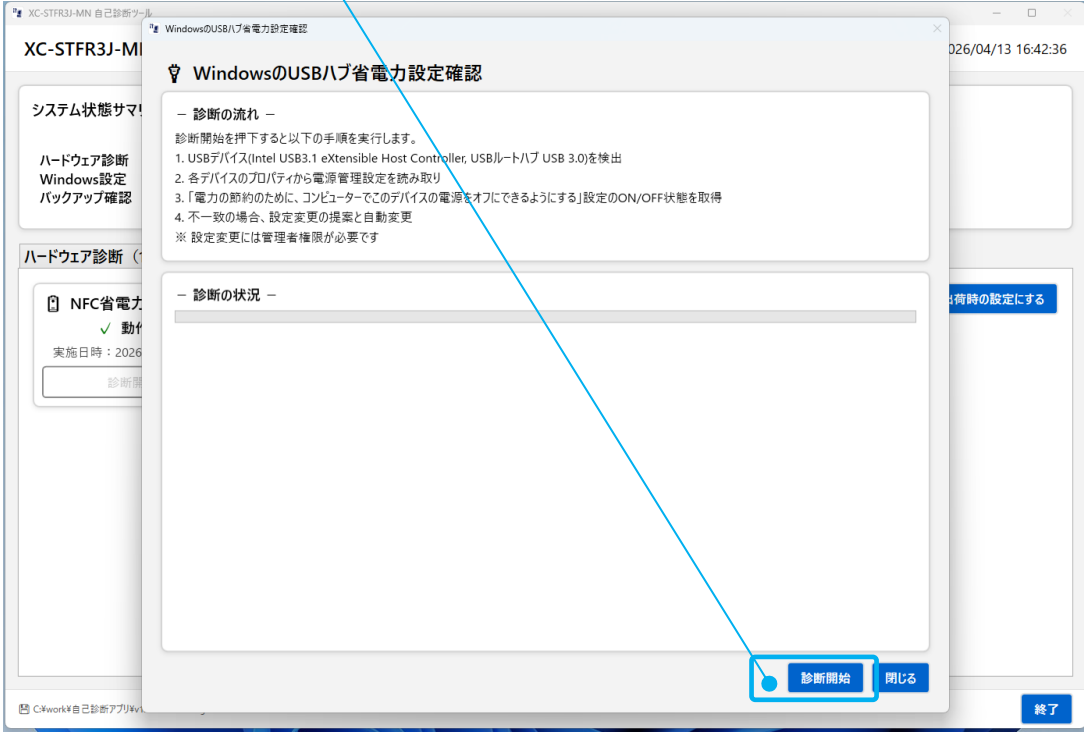
目的：内蔵USBハブが意図せず休止状態に入ることを防止します。

診断手順：

① 「診断開始」を押す。

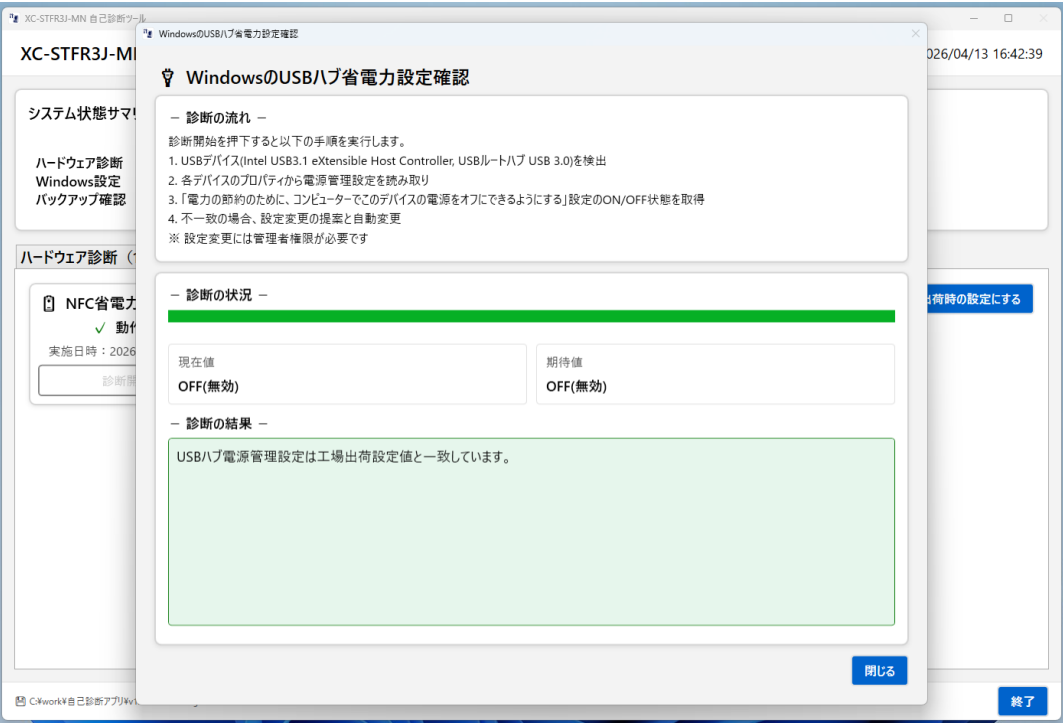


② 「診断開始」でUSBハブ省電力設定確認を開始します。

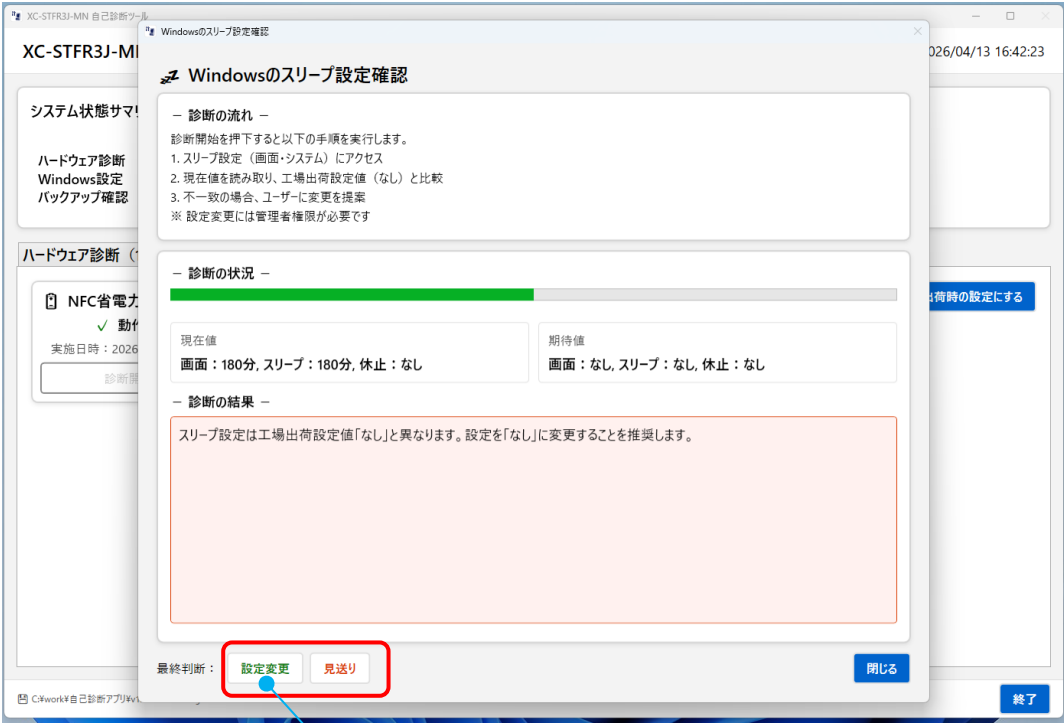


4 – 3. Windows設定：USBハブ省電力設定②

③ 工場出荷設定通りになっている場合（省電力無効）



③ 工場出荷設定と異なる場合（省電力有効）



④ 工場出荷設定に戻す場合は「設定変更」を押します。
(本アプリを管理者権限で実行していることが必要です。)

バックアップ確認

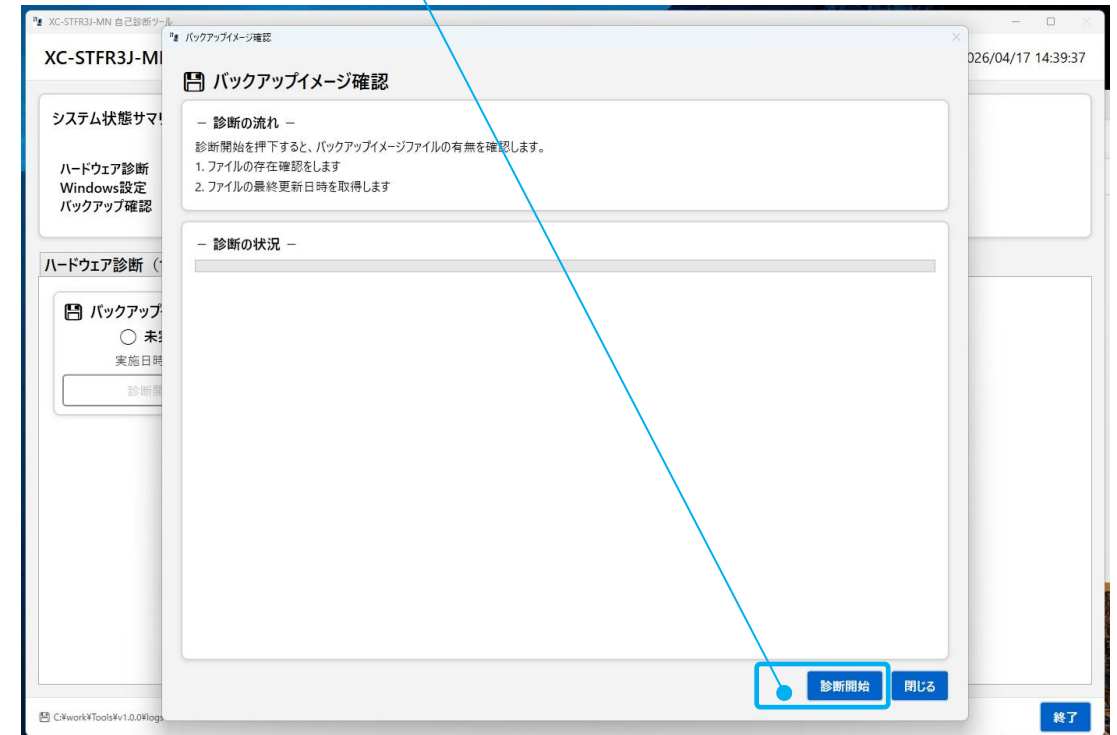
5. バックアップ確認

顔認証付きカードリーダー本体（Dドライブ）にバックアップイメージが生成されているかを確認します。
なお、生成手順は、「顔認証付きカードリーダー 取扱説明書 本体編」を参照してください。

① 「診断開始」を押す

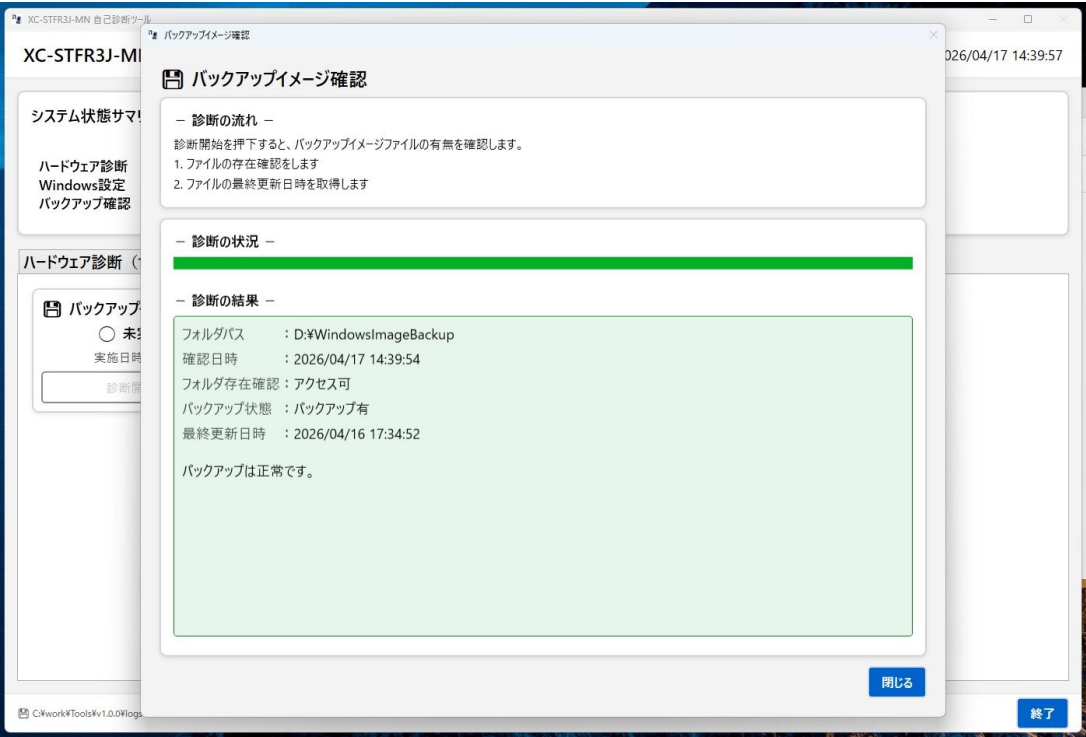


② 「診断開始」でバックアップイメージの存在確認を開始します。

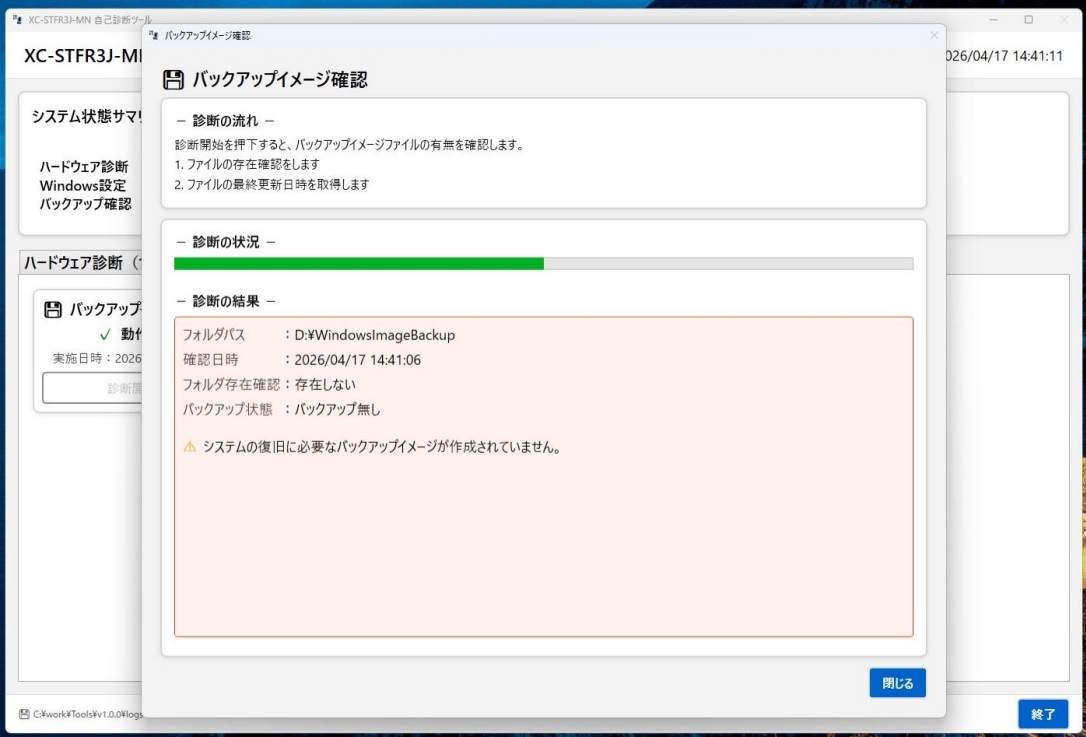


5. バックアップ確認

③ バックアップイメージが生成している場合



③ バックアップイメージが生成されていない場合



バックアップイメージを取得することを強く推奨します

補足

管理者モードで実行する方法

- ① 自己診断ツールのアイコン（SelfDiagnosisへのショートカット）を右クリックし、「プロパティ」を選択して開きます。
- ② 「ショートカットのプロパティ」から「詳細設定」を押すと、「詳細プロパティ」が開きます。
- ③ 「管理者として実行」にチェックをいれます。
- ④ 「OK」及び「適用」を押して終了します。

